

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	インテリアデザイン						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	デザインコース:選択必修科目、建築工学コース:選択科目、建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・家具類の設計・デザインに要する基礎知識や製作技術の内容を理解できる(D1)。 ・家具類の評価基準を保持でき、それらを具体的な設計に反映させることができる(A6, D1) ・調査をとおして椅子の構造・機能を具体的に検証し、最適なデザインを思考できる(A6, D1)。 ・標準化の社会的意義を理解し、設計において標準化を志向することができる(D1)。 						
日程と内容	<p>第1回: 導入講義 授業の進め方と概要の説明 成績評価法 第2回: 日本のインテリアデザインの歴史 (椅子座) 第3回: 椅子のモダンデザイン-1 (20世紀以降のグッドデザイン) 第4回: 椅子のモダンデザイン-2 (椅子の調査/機能・形態・構造・材料) 第5回: 椅子のモダンデザイン-3 (椅子の調査/機能・形態・構造・材料) 第6回: 椅子のモダンデザイン-4 (椅子の調査/機能・形態・構造・材料) 第7回: バウハウスとモダンデザイン 第8回: インテリアの人間工学-1 第9回: インテリアの人間工学-2 第10回: インテリアの人間工学-3 第11回: 標準化の目的と内容 第12回: 家具類の標準化-1 (寸法) 第13回: 家具類の標準化-2 (性能) 第14回: 人間の動作・行動の特性 第15回: 人間集合の特性、まとめ・過年度の定期試験 第16回: 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	シラバスに沿った日程と内容で授業を実施することができた。定期試験を受験した学生にしめる合格者の割合も高く、到達目標は達成できたと判断している。						
反省点	1時間目の授業であったので、欠席と遅刻が多かった。欠席が続いた学生は、モチベーションの維持が困難で途中から授業を放棄し、期末試験を受けることができなかったものと思われる。今年度は時間割の都合上、1時限年目の開講になったが、来年度からは2時間目の開講になる予定。2学年同時開講であったので、受講生が非常に多かった。						
来年度の計画	来年度は1学年対象で2限目の開講となる予定。授業内容は今年度と同じ。						
授業評価アンケートに対するコメント	自由記述欄の回答は特になし。アンケート内の質問14の評価(平均値)は7.9。来年度は8.0以上の評価が得られるように努めたい。						
履修登録者数	90名	定期試験 受験者数	77名	合格者数	75名	合格率	97%